



さぬき市

- 取材依頼 □ 募集告知
□ 周知依頼 □ その他



「大窪寺境内」が讃岐遍路道に追加指定されます

四国霊場第88番札所「大窪寺」が、史跡 讃岐遍路道に追加指定される見込です。下記日程で現地公開を行いますので、取材についてよろしくお願いします。
当日、香川県・さぬき市職員等が現地を案内します。（解散は自由）

日 時：令和7年6月17日（火）13：30～15：00（集合13：30）
集合場所：大窪寺 第一駐車場（さぬき市多和兼割73）
連絡先：さぬき市生涯学習課（担当：山本）TEL：0879-26-9974

【大窪寺境内の概要】（詳細は県の報道提供資料を参照ください）

四国遍路の結願寺となる札所寺院。創建は、縁起では行基により開山され、その後、弘法大師空海により現境内の位置に再興したといわれている。このほか、平安時代のものと考えられる本尊、鉄製錫杖などから中世までに境内の伽藍整備が一定程度進んでいたと考えられる。

その後、天正年間に長宗我部氏の侵攻により、多くの堂宇が焼失し、衰退したといわれるが、江戸時代の高松藩主である松平頼重は、大窪寺に寺領を寄進する等、手厚く庇護をはかり大窪寺は再興を果たした後、現在は、第88番札所寺院となっている。

境内は、山麓の斜面を平坦に造成しており、縁辺は石垣で保護されている。石垣はその特徴から19世紀代のものと考えられ、境内の建物については、明治33年（1900）の火災により二天門以外の堂宇を失うが、明治期のうちに本堂、大師堂や阿弥陀堂が同位置に再興され、旧状に復された。また、背後の女体山は、本堂背後にそびえる岩崖として、境内空間を構成している。

（本件に関する問い合わせ先）

さぬき市教育委員会事務局 生涯学習課 担当 山本一伸
TEL （0879）26-9974
Email syogaigakusyu@city.sanuki.lg.jp